



# 消費者の部屋通信

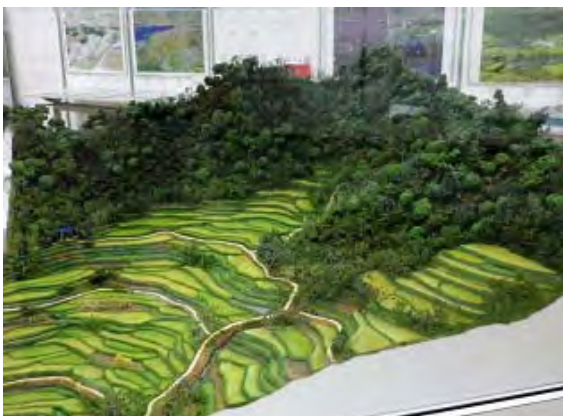
(平成23年9月号)

目次	☆ 特別展示のご紹介	1
	☆ 今後の特別展示スケジュールの紹介	3
	☆ 8月の消費者相談状況(速報)	5
	☆ 8月の東日本大震災関係相談状況(速報)	7
	☆ 農林水産省への訪問対応	8
	☆ トピック：農林水産省の組織再編について	9
	☆ 相談事例(8月分)	11
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	12



↑ チューインガムの展示(8/15~19)

↓ 棚田の紹介の展示(9/5~9)



## 「消費者の部屋では」

消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産本省の北別館1階に設けられ、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、特別展示では、これまで延べ190万人を超える方々にご来室いただいております。

これからもわかりやすい情報の提供・相談に努めて参りますので、どうぞお気軽にご利用ください。

## ☆ 特別展示のご紹介

### ● 特別展示の開催状況

日 程	テーマ	入場者数
8月15日～8月19日	チューインガムでリラックス！！	4,269人
9月5日～9月9日	棚田はすごい！おいしい！美しい！	865人

### ● 今後の特別展示（予定）

日 程	テーマ
9月12日～9月16日	「国民参加の森林づくり」と「緑の募金」
9月28日～10月3日	木づかい推進月間～身近な国産材製品と木育のご紹介～
10月4日～10月7日	意外とスゴイ！冷凍食品

### ◆ テーマ「チューインガムでリラックス！！」◆

パネル、ビデオ等を用いて、ガムの製造工程、ガムの持つ効用・機能を紹介し、併せて「ポイ捨て防止」のマナー向上への啓発を行いました。さらに、子どもたちを対象に「手作りチューインガム教室」を開催しました。



↑たくさん子どもたちが来てくれました



手作りチューインガム教室の様子



◆ テーマ「棚田はすごい！おいしい！美しい！」◆

近年、美しい景観の保全活動など様々な面で注目されている棚田について、四季折々の写真パネルを展示し、全国各地の棚田や保全活動の取組を紹介しました。



**【子ども霞が関見学デーの様子】**

農林水産省は、平成23年8月17日、18日に子ども霞が関見学デーを開催し、4,076人に来訪いただきました。消費者の部屋では、バケツ稲や田んぼのエビの観察コーナー、子ども相談コーナーを設けました。



## ☆今後の特別展示スケジュールの紹介

下記日程により、本省消費者の部屋で特別展示を開催します。ご来場をお待ちしております。

9月1日現在

期間	特別展示名	ねらい	展示内容	担当
9月5日 ～ 9月9日	棚田はすごい！ おいしい！美しい！	棚田の紹介を通して、棚田が果たしている多面的機能や保全の必要性についての理解促進	近年、美しい景観の保全活動など様々な面で注目されている棚田について、四季折々の写真パネルを展示し、全国各地の棚田や保全活動の取組を紹介するとともに、今年で17回目を迎える棚田サミットについて紹介します。	農村振興局 中山間地域振興課
9月12日 ～ 9月16日	「国民参加の森林(もり)づくり」と「緑の募金」	森林づくりの重要性を普及・啓発	私たちにとって大切な役割を果たしてくれる森林。このような森林を国民全体で守り育てていこうという「国民参加の森林づくり」や「緑の募金」等に関する様々な情報を紹介します。	林野庁 森林整備部 研究・保全課
9月28日 ～ 10月3日	木づかい推進月間 ～身近な国産材製品と木育のご紹介～	来場者に木製品の素晴らしさを再認識してもらい、日常生活に国産材製品を取り入れてもらう	10月は「木づかい推進月間」です。木を使うことは、地球温暖化防止につながります。「木づかい」とは、暮らしの中に国産材の製品をどんどん取り入れて、日本の森林を育てるエコ活動。ご家庭やオフィスで使える国産材製品と木育をご紹介します。	林野庁 林政部 木材利用課
10月4日 ～ 10月7日	意外とスゴイ、冷凍食品	冷凍食品産業の振興	皆さんの食卓に身近な冷凍食品。簡単で便利と言われていますが、冷凍食品にはまだまだ知られていない魅力があります。冷凍状態では細菌が活動できないので衛生的なことや、急速凍結することで栄養価や美味しさを保つことが出来るのです。その「意外とスゴイ」部分をお知らせします。	食料産業局 食品製造卸売課
10月11日 ～ 10月14日	森からの恵み 「きのこや特用林産物」	特用林産物に関する理解の促進と普及による需要拡大	きのこ類、山菜、木炭、竹等の特用林産物について展示・紹介するとともに、東日本大震災の被災地及びその周辺地域で生産・製造されている特用林産物を積極的に消費する取組「食べて応援しよう」をキャッチフレーズに紹介します。	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室
10月17日 ～ 10月21日	間伐・間伐材 利用促進の週	間伐等の推進	美しい森林づくりの取組や間伐実施の取組の紹介、間伐材製品の展示など間伐の推進、間伐材の利用促進に向けた普及啓発、間伐材マークの紹介等を行います。	林野庁 森林整備部 整備課 造林間伐対策室
10月24日 ～ 10月28日	もっとおさかなを食べよう！～旬の魚のおいしい食べ方～	魚の旬、味、栄養、健康への効用を紹介し、魚食選択の頻度を増やすことを目指す	今年も「さんま」の美味しい季節が来ました！その他、鰹、鮭、鯖等いろいろな魚が旬を迎えています。そこで、旬の魚を美味しくする方法や郷土料理、創作料理のレシピの紹介をします。また、体に必要な栄養の分量をどのくらい魚でとれるのか測って当てる体験コーナーや魚の栄養に関するクイズコーナーを設けます。	水産庁 漁政部 加工流通課
10月31日 ～ 11月4日	環境に貢献する エコファーマーの活動	エコファーマー制度やエコファーマーの技術・経営・生産物などを紹介	環境にやさしい農業を推進している政策の紹介と、エコファーマー達の実践している技術とそれによって生産されている農産物と加工品等を紹介し、併せて、エコファーマーが相互に交流し研鑽する組織として誕生した「全国エコファーマーネットワーク」の活動を紹介します。	生産局 農業環境対策課

期間	特別展示名	ねらい	展示内容	担当
11月7日 ～ 11月11日	有機農業の週 ～2011～	有機農業を広く知っていただき、認知度の向上を目指す	有機農業に関するパンフレット配布、パネル展示などを行うとともに、消費者の疑問・質問にお答えできるよう講習会や相談窓口を設置します。	生産局 農業環境対策課
11月14日 ～ 11月18日	熊本県のこだわり(飼料用米給与)畜産物！ ～「えこめ牛」・「八十八卵」の取り組み～	熊本県の取り組みを広く紹介するとともに、「えこめ牛」・「八十八卵」等こだわり畜産物の全国的な認知度向上を図る	熊本県では、飼料自給率の向上・飼料の安定供給及び水田の有効活用に資するため、飼料用等の水田飼料作物の生産と利用を推進するとともに、飼料用米を給与して生産された畜産物の認知度向上や消費拡大運動を総合的に実施しています。今回、このような取り組みの紹介と併せて、食堂との共同企画により料理を提供します。	熊本県 農林水産部 生産局 畜産課
11月28日 ～ 12月2日	国有林野で遊び、学ぼう！	国民に開かれた国有林の取組の紹介	ボランティア団体などによる森林整備活動や森林環境教育の取組など国有林野を利用した様々な取組を紹介するほか、全国各地にある「レクリエーションの森」におけるスキーをはじめとした森林レクリエーションについて紹介します。	林野庁 国有林野部 業務課 国有林野総合 利用推進室
12月5日 ～ 12月9日	信州オリジナル食材は いかが	信州オリジナル食材のPR	信州サーモン、信州黄金シャモ、信州プレミアム牛肉などの加工品やPR販売グッズ(ミニブック、パネル、ポスター、リーフレット)の展示を行います。	長野県 農政部 農業政策課
12月12日 ～ 12月16日	2011国際森林年	我が国の国際森林年の取組を紹介し、現在取り組んでいる森林林業再生や「美しい森林づくり推進国民運動」、途上国の森林保全等に対する国民の理解の促進	今年、国連が定めた国際森林年(the International Year of Forests)です。国際森林年は、世界中の森林の持続可能な経営保全の重要性に対する認識を高めることを目的としています。展示では、今年1年間の取組を網羅的に紹介します。	林野庁 森林整備部 計画課 海外林業協力室

**※特別展示スケジュールは、予告なく追加・変更されることがあります。**

- (1) 入場は無料です。
- (2) 特別展示は、原則として期間中の月曜日から金曜日まで行っています。ただし、祝祭日、年末年始は閉室です。
- (3) 開室時間は、10時から17時までです。  
ただし、展示初日は12時から17時、  
展示最終日は10時から13時です。  
詳しくは、消費者の部屋にお問い合わせ下さい。

# ☆ 8月の消費者相談状況（速報）

～電話やメールでご相談を受け付けています～



8月の相談件数は、1229件（前月2015件）でした。このうち、問合せは930件、要望・意見は240件、その他は59件となりました。

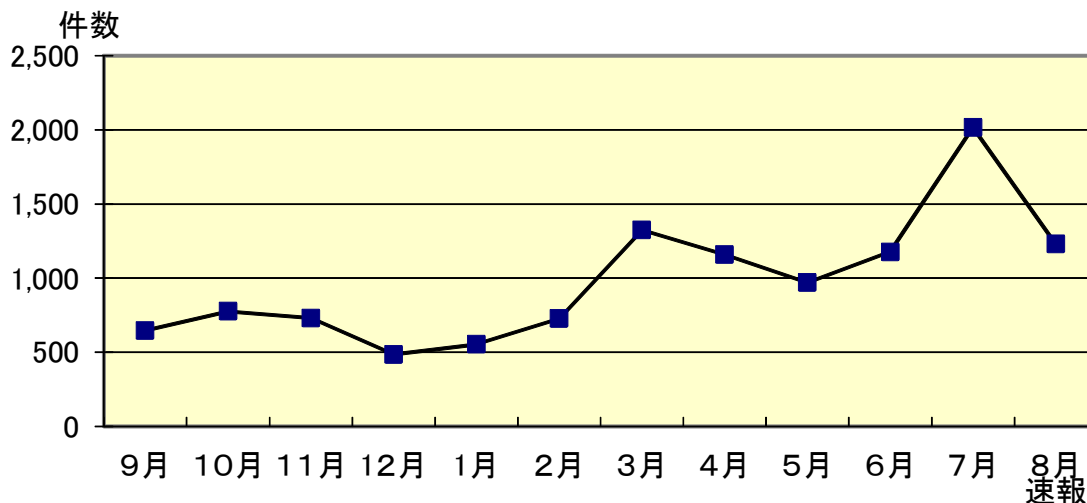


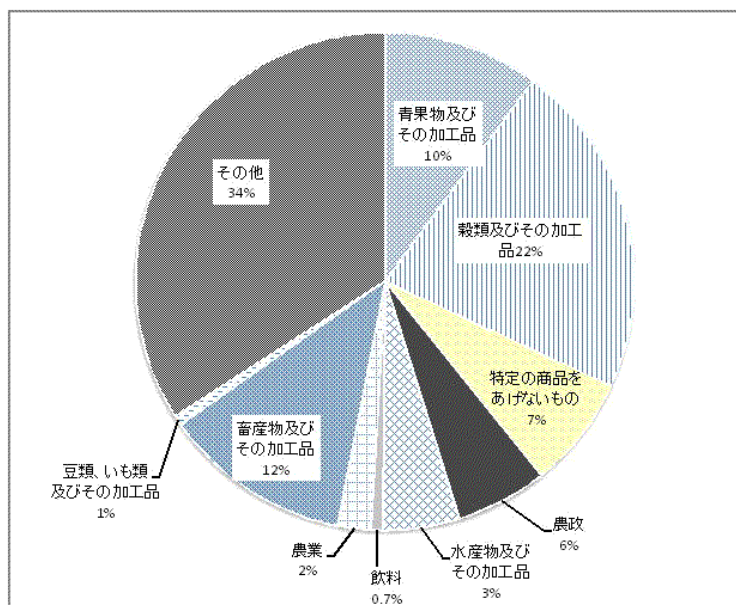
図1 月別相談件数の推移

## 〔品目別相談件数〕

表1 品目別相談件数

	7月	8月	差
青果物及びその加工品	116	124	8
穀類及びその加工品	151	268	117
特定の商品をおげないもの	116	90	-26
農政	132	73	-59
水産物及びその加工品	58	61	3
飲料	4	9	5
農業	28	27	-1
畜産物及びその加工品	505	150	-355
豆類、いも類及びその加工品	16	8	-8
その他	889	419	-471
合計	2,015	1,229	-786

図2 品目別相談比率



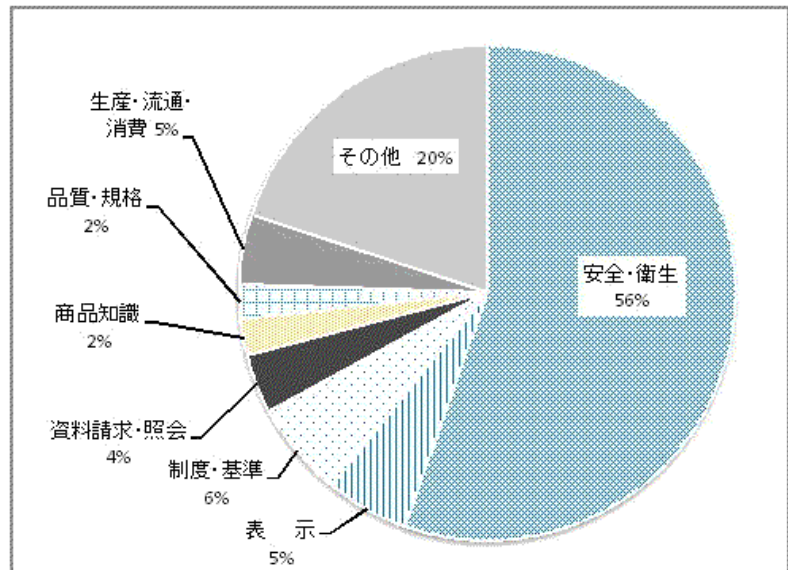


## 〔内容別相談件数〕

表2 内容別相談件数

	(件)		
	7月	8月	差
安全・衛生	1,368	681	-687
表示	66	66	0
制度・基準	136	78	-58
資料請求・照会	75	47	-28
商品知識	17	29	12
品質・規格	24	28	4
生産・流通・消費	56	56	0
その他	273	244	-29
合計	2,015	1,229	-786

図3 内容別相談比率

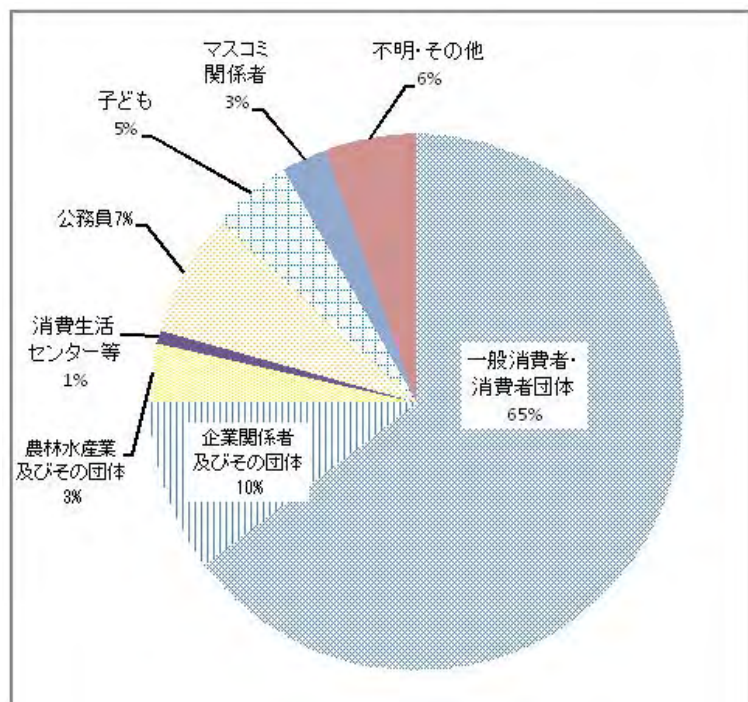


## 〔相談者別件数〕

表3 相談者別相談件数

	(件)		
	7月	8月	差
一般消費者・消費者団体	1,395	795	-600
企業関係者及びその団体	229	127	-102
消費生活センター等	43	43	0
農林水産業及びその団体	121	92	-29
マスコミ関係者	20	10	-10
子ども	18	60	42
公務員	39	33	-6
不明・その他	150	69	-81
合計	2,015	1,229	-786

図4 相談者別比率



### ◆ 主な要望・意見

- \* コメの先物取引には不安を感じる。国は価格安定に対応してほしい。
- \* 放射性物質の農地汚染により、耕作放棄地が増えないよう施策を講じてほしい。
- \* 国は風評被害を受けている地域の経営を支えるような資金を拠出してほしい。
- \* マグロの放射性物質検査の強化・拡充をしてほしい。

## 〔子ども相談〕

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。

8月の子ども相談件数は、前月より42件増加し、60件となりました。

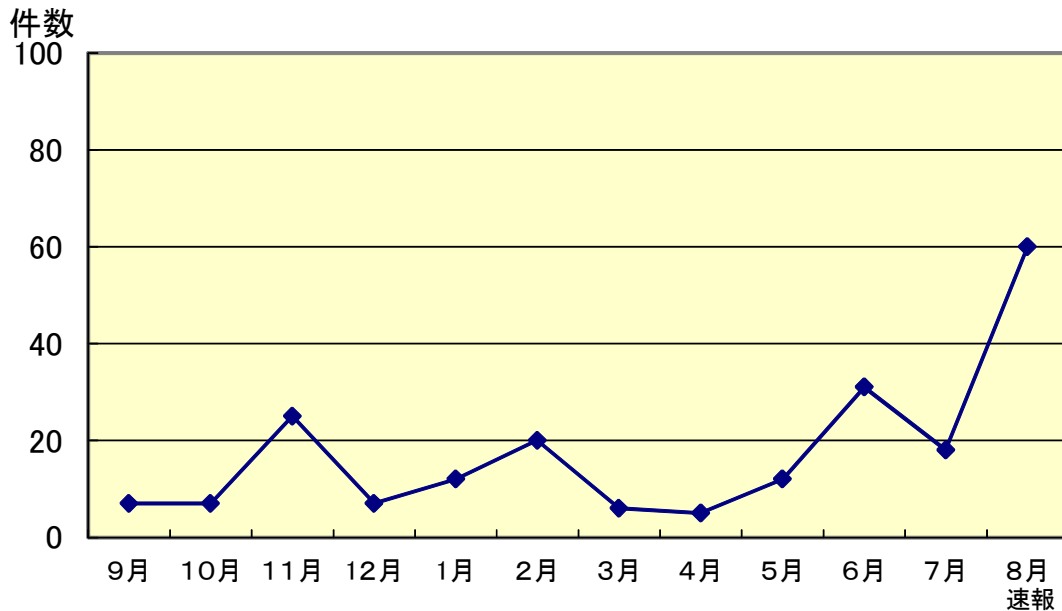


図5 子ども相談件数の推移

- ◆ 主な子ども相談
- \* お米の生産調整はなぜ行っているのですか。
- \* カブトエビは農業にどのように役立っているのですか。
- \* 品目ごとの食料自給率の変化を教えてください。

## ☆ 8月の地震関係相談状況（速報）

8月の地震関係の相談件数は、785件でした。このうち、問合せは573件、要望・意見は179件、その他は33件となりました。

食品の放射性物質の汚染により、安全・衛生の相談が8割を占めた。

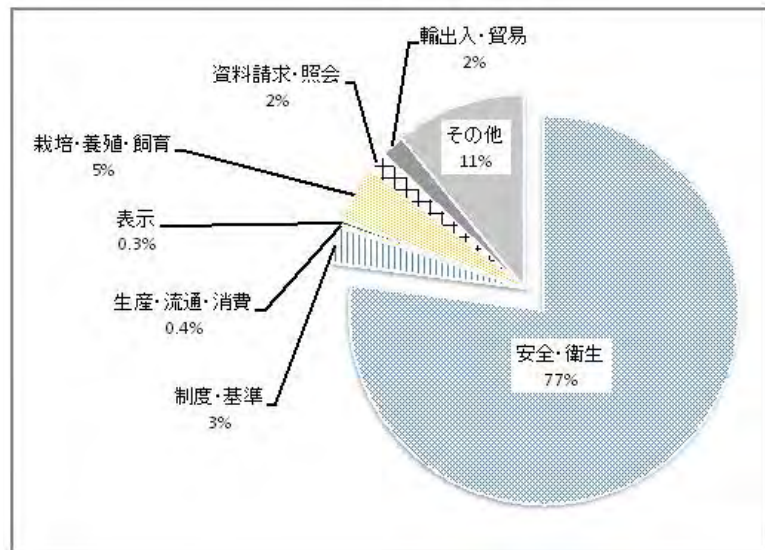


## 〔内容別相談件数〕

表 地震関係の内容別相談件数  
(件)

安全・衛生	605
制度・基準	23
生産・流通・消費	3
表示	2
栽培・養殖・飼育	37
資料請求・照会	14
輸出入・貿易	15
その他	86
合計	785

図 地震関係の内容別相談比率



### ◆ 主な問い合わせ

- \* 公表された肥料などの放射性物質の規制値について知りたい。
- \* 放射性物質に汚染された水田の除染技術開発の報道があった。使用する資材や方法について詳しく知りたい。
- \* 被災して漁船を失った漁業者に対して、漁協などは復興資金を提供しているのか。

## ☆ 農林水産省への訪問対応

～修学旅行や社会科見学などでの訪問をお待ちしています～



■平成23年8月の訪問	来訪者数
東京都江東区深川第5中学校3年生	10名
合計 1件	10名

## ☆ トピック

### 農林水産省の組織再編について（平成23年9月1日実施）

農林水産省は、農林水産施策を的確に遂行できる体制を整備するため、平成23年9月1日に農林水産省の本省及び地方農政局等の組織再編を行いました。

#### ◇組織再編の概要

##### <農林水産省本省>

1. 農山漁村・農林漁業の6次産業化等を担当する食料産業局を設置します。
2. 米麦政策を含めた農畜産物に係る政策を生産局が一元的に担当します。新たに、「生産振興審議官」を設置します
3. 戸別所得補償の本格実施に伴う交付金と制度全体の総括を経営局が担当します。
4. 政策評価、行政事業レビュー、業務のリスク管理等を推進する事務局体制の強化のため、担当の政策評価審議官―大臣官房評価改善課のラインを設定します。

##### <農林水産省地方農政局等>

- 農業経営の安定や食品安全に関する業務等を国が的確に実施する体制を整備するため、地方農政事務所等を廃止し、地域センター（65カ所）及び支所（38カ所）を設置します。

#### ◇各地方農政局等へのホームページアドレス

各地方農政局等ごとの組織再編の概要については、下記URLからご覧いただけます。

北海道農政事務所 <http://www.maff.go.jp/hokkaido/sosikisaihen/sosikisaihen.html>

東北農政局 <http://www.maff.go.jp/tohoku/info/sosiki/saihen.html>

関東農政局 <http://www.maff.go.jp/kanto/annai/sosiki/saihen/index.html>

北陸農政局 [http://www.maff.go.jp/hokuriku/news/sosiki\\_saihen.html](http://www.maff.go.jp/hokuriku/news/sosiki_saihen.html)

東海農政局 <http://www.maff.go.jp/tokai/somu/jinji/sosiki-saihen/sosiki-saihen.html>

近畿農政局 [http://www.maff.go.jp/kinki/soumu/soumu/info\\_saihen.html](http://www.maff.go.jp/kinki/soumu/soumu/info_saihen.html)

中国四国農政局 [http://www.maff.go.jp/chushi/kikouzu/saihen\\_info.html](http://www.maff.go.jp/chushi/kikouzu/saihen_info.html)

九州農政局 <http://www.maff.go.jp/kyusyu/soumu/jinji/sosiki-saihen.html>

#### ◇組織再編の一覧資料は下のアドレスからどうぞ。

農林水産省の組織再編について（農林水産省ホームページ）

： <http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/pdf/110826-01.pdf>

# 地方農政局等の「消費者の部屋」「消費者コーナー」

#####

所轄農政局	事業所名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX
北海道農政事務所	北海道農政事務所	060-0004	北海道札幌市中央区北24条西17-19-6	011-642-5474	011-613-3795
	函館地域センター	040-0032	北海道函館市新川町25-18 函館地方合同庁舎	0138-26-7800	0138-26-7744
	旭川地域センター	078-8506	北海道旭川市宮前通東4155-31 旭川地方合同庁舎	0166-76-1277	0166-35-9480
	釧路地域センター	085-0022	北海道釧路市南浜町5-9 釧路港湾合同庁舎	0154-23-4401	0154-23-4404
	帯広地域センター	080-0016	北海道帯広市西6条南7-3 帯広地方合同庁舎	0155-24-2401	0155-24-2420
	北見地域センター	090-0018	北海道北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎	0157-23-4171	0157-23-5358
	苫小牧地域センター	053-0005	北海道苫小牧市元中野町3-3-6	0144-32-5345	0144-32-5347
東北農政局	東北農政局	980-0014	宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎	022-263-1111 (内線4315)	022-217-8432
	大崎地域センター	989-6156	宮城県大崎市古川西館2-3-33	0229-23-6211	0229-22-2633
	青森地域センター	030-0802	青森県青森市本町2-10-4	017-775-2154	017-777-3213
	八戸地域センター	039-1103	青森県八戸市大字長苗代字狐田45-3	0178-29-2115	0178-20-2868
	盛岡地域センター	020-0013	岩手県盛岡市愛宕町13-33	019-624-1125	019-624-9170
	奥州地域センター	025-0063	岩手県花巻市下小舟渡75-1	0198-23-2336	0198-23-4375
	秋田地域センター	010-0951	秋田県秋田市山王7-1-5	018-862-5639	018-862-5168
	大仙地域センター	014-0014	秋田県大仙市大曲福住町3-14	0187-63-3222	0187-63-0330
	山形地域センター	990-0023	山形県山形市松波1-3-7	023-622-7233	023-622-7249
	酒田地域センター	998-0061	山形県酒田市光ヶ丘2-13-6	0234-33-7248	0234-33-7245
関東農政局	福島地域センター	960-8107	福島県福島市浜田町1-9	024-534-4151	024-525-6533
	いわき地域センター	970-8026	福島県いわき市平字堂根町4-11 いわき地方合同庁舎	0246-23-8511	0246-23-8512
	関東農政局	330-9722	さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館	048-740-0358	048-601-0548
	水戸地域センター	310-0061	茨城県水戸市北見町1-9	029-221-2185	029-221-2943
	土浦地域センター	300-0871	茨城県土浦市荒川沖東2-15-27	029-843-6875	029-843-1411
	宇都宮地域センター	320-0806	栃木県宇都宮市中央2-1-16	028-633-3114	028-633-4073
	大田原地域センター	324-0041	栃木県大田原市本町1-2812	0287-23-5611	0287-23-5613
	前橋地域センター	371-0025	群馬県前橋市紅雲町1-2-2	027-221-1182	027-221-0928
	千葉地域センター	260-0014	千葉県千葉市中央区本千葉町10-18	043-221-0830	043-221-7135
	東京地域センター	100-0004	東京都千代田区大手町1-3-3 大手町合同庁舎第3号館	03-3214-7315	03-3214-1649
	横浜地域センター	231-0003	神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎	045-211-1333	045-211-1337
	甲府地域センター	400-0031	山梨県甲府市丸の内3-5-9	055-226-6613	055-226-6642
	長野地域センター	380-0846	長野県長野市旭町1108 長野第2合同庁舎	026-233-2991	026-235-1657
	松本地域センター	390-0852	長野県松本市大字島立650-1	0263-47-2001	0263-47-2179
	北陸農政局	静岡地域センター	420-8618	静岡県静岡市葵区東草野町7-18	054-246-6959
浜松地域センター		432-8047	静岡県浜松市中区神田町中北川525	053-441-0137	053-441-0139
北陸農政局		920-8566	石川県金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎	076-263-2161 (内線3751)	076-261-9523
新潟地域センター		951-8035	新潟県新潟市中央区船場町2-3435-1	025-228-5212	025-223-3987
長岡地域センター		940-2106	新潟県長岡市古正寺中割51-3 古正寺庁舎	0258-27-2011	0258-27-2012
富山地域センター		930-0856	富山県富山市牛島新町11-7 富山地方合同庁舎	076-441-9309	076-441-9327
東海農政局	福井地域センター	918-8555	福井県福井市つくも2-11-21	0776-36-1701	0776-35-8925
	東海農政局	460-8516	名古屋市中区三の丸1-2-2 名古屋農林総合庁舎1号館	052-223-4651	052-220-1362
	豊橋地域センター	441-8064	愛知県豊橋市富本町字国隠20-6	0532-45-8195	0532-45-8196
	岐阜地域センター	500-8288	岐阜県岐阜市中鷲2-26	058-271-4046	058-275-9716
九州農政局	高山地域センター	506-0055	岐阜県高山市上岡本町7-479	0577-32-1155	0577-32-1156
	津地域センター	514-0006	三重県津市広明町415-1	059-228-3153	059-229-0577
近畿農政局	近畿農政局	602-8054	京都市上京区西洞院通下長者町下ル丁子風呂町 京都農林水産総合庁舎	075-414-9761	075-417-2149
	大津地域センター	520-0806	滋賀県大津市打出浜3-49	077-522-4261	077-526-3062
	東近江地域センター	527-0023	滋賀県東近江市八日市緑町11-24	0748-23-3874	0748-23-3844
	大阪地域センター	540-0008	大阪府大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6階	06-6943-9691	06-6941-9011
	神戸地域センター	650-0024	兵庫県神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4階	078-331-9944	078-331-9965
	姫路地域センター	670-0940	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町18	079-281-3692	078-281-3693
	豊岡地域センター	668-0023	兵庫県豊岡市加広町5-10	0796-22-6109	0796-22-2172
	奈良地域センター	630-8113	奈良県奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎3階	0742-32-1872	0742-36-2985
中国四国農政局	和歌山地域センター	640-8143	和歌山県和歌山市二番丁2 和歌山地方合同庁舎5階	073-436-3857	073-436-5002
	中国四国農政局	700-8532	岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎	086-224-9428	086-224-4530
	鳥取地域センター	680-0845	鳥取県鳥取市富安2-89-4 鳥取第1地方合同庁舎	0857-22-3183	0857-24-6775
	松江地域センター	690-0001	島根県松江市東朝日町192	0852-24-7311	0852-24-7395
	広島地域センター	730-0012	広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館	082-228-9629	082-228-5827
	福山地域センター	720-0017	広島県福山市千田町2-5-30	084-955-8633	084-955-8637
	山口地域センター	753-0042	山口県山口市惣太夫町3-8	083-922-5203	083-928-0736
	徳島地域センター	770-0943	徳島県徳島市中昭和町2-32	088-622-6136	088-655-9136
	高松地域センター	760-0018	香川県高松市天神前3-5	087-831-0827	087-831-8171
	松山地域センター	790-8519	愛媛県松山市宮田町188 松山地方合同庁舎	089-932-1379	089-932-1873
九州農政局	高知地域センター	780-0870	高知県高知市本町4-3-41 高知地方合同庁舎	088-875-2155	088-872-7547
	九州農政局	860-8527	熊本県熊本市春日2-10-1 熊本地方合同庁舎	096-211-9105	096-211-9700
	八代地域センター	866-0896	熊本県八代市日置町171-1	0965-35-7311	0965-35-7122
	福岡地域センター	812-0018	福岡県福岡市博多区住吉3-17-21	092-281-8261	092-281-3202
	北九州地域センター	820-0004	福岡県飯塚市新立岩8-65	0948-22-0859	0948-22-2385
	佐賀地域センター	840-0803	佐賀県佐賀市栄町3-51	0952-23-3132	0952-23-3168
	長崎地域センター	852-8106	長崎県長崎市岩川町16-16 長崎合同庁舎	095-845-7124	095-845-7180
	大分地域センター	870-0047	大分県大分市中島西1-2-28	097-532-6242	097-532-9251
	宮崎地域センター	880-0801	宮崎県宮崎市老松2-3-17	0985-22-3181	0985-22-3384
	延岡地域センター	882-0803	宮崎県延岡市大貫町1-2884-1 大貫庁舎	0982-35-7311	0982-35-7596
内閣府	鹿児島地域センター	892-0817	鹿児島県鹿児島市小川町3-64	099-222-0121	099-223-7302
	鹿屋地域センター	893-0064	鹿児島県鹿屋市西原4-5-1 鹿屋合同庁舎	0994-43-4136	0994-43-8747
内閣府	沖縄総合事務局	900-0006	沖縄県那覇市おもろまち2-1-1	098-866-1672	098-860-1195

## ☆ 相談事例（8月分）

### Q 1 小豆の国内生産量と主な生産地を教えてください。

A：平成22年産作物統計によると、全国の生産量（収穫量）は54,900トンで、主な生産地は北海道（48,700トン）、兵庫県（545トン）、岩手県（378トン）となっています。  
（参考資料：「作物統計」農林水産省）

### Q 2 「かつおぶし」にするカツオは、太平洋中西部赤道エリア（フィリピン、インドネシア、マーシャル諸島、パプア付近）で漁獲しているそうですが、日本近海で漁獲されるカツオと違うのですか。カツオの回遊習性はどのようなものなのでしょうか。

A：一般的に、カツオは赤道域から我が国周辺水域まで広く分布しますが、カツオの回遊については、まだはっきりとわかっていないところがあります。赤道域周辺の熱帯水域には重要な産卵場が存在しますが、中南方海域（北緯15～25度）や日本近海でも産卵し、日本近海へ来遊するカツオの起源は、中南方海域（北緯15～25度）と想定されています。また、日本近海へ来遊したカツオが南下することがわかっており、小笠原海域まで南下するもの、中南方海域（北緯15～25度）まで南下するもの、南方海域（北緯15度以南）まで南下するものに分かれるものと考えられています。このため、南方海域で漁獲されるカツオのうち、日本近海へ来遊したことがあるカツオがいくらかは存在すると思われていますが、その割合はよくわかりません。このように、カツオは季節にあわせて規則的な北上移動（春から夏にかけて）及び南下移動（秋から冬にかけて）をする回遊魚ですが、日本近海へ来遊するカツオは生まれてほぼ1年たったカツオが大部分で、その後冬に向かって南下した後は、再び北上するカツオは非常に限られた割合であると考えられています。

（担当：水産庁漁場資源課）

### Q 3 フランス料理に「マグレ・ド・カナール」を使った料理がありますが、「マグレ・ド・カナール」とはどのようなものですか。

A：マグレ・ド・カナール（magret de canard）は、フォワグラ（foie gras、ガチョウ・鴨の肝臓：世界三大珍味のひとつ）をとるために肥育したガチョウ・鴨の胸肉（ササミ）で抱き身ともいわれる部分のことです。以前はコンフィ（confit、脂の中で低温で長時間煮るフランス料理の調理法）にしたり、燻製にすることが多かったようですが、最近では、生のまま、皮を香ばしく、肉をレアに焼いて好みのソースをかけていただく料理が好まれているということです。

（参考資料：「食材図典Ⅱ」小学館）



**Q 4 地方に行った時「ホウカイボウ」という魚を食べて美味しかったのですが、「ホウカイボウ」とはどのような魚ですか。**

A：「ホウカイボウ」は、標準和名「ヨロイイタチウオ」といい、イタチウオやキングクリップと同じアシロ科の魚です。南日本の深海に棲息し延縄漁や底引き網により漁獲されます。淡泊な白身の魚で、鍋物や汁料理などに用いられます。

(参考資料：「食材魚貝大百科」平凡社、「原色魚類大図鑑」北隆館)

☆地方の「消費者の部屋」だより

## 九州農政局 宮崎地域センター 消費者の部屋

宮崎地域センターは、宮崎市に位置し、JR宮崎駅から南へ徒歩でわずか5分と非常に便利なところにあります。

### 【消費者の部屋】

「消費者の部屋(消費者コーナー)」では、食事バランスガイドのパネル及びコマを配置し、フードモデルセットで朝食・昼食・夕食を並べ1日分の食事例を展示しています。また、5月に戸別所得補償制度、6月に日本型食生活(食育月間)、7月に米トレーサビリティと当センターに訪れられる方々に関心を持って頂けるよう特別展示を行いました。



消費者の部屋

### 【移動消費者の部屋】



街市での消費者相談コーナー

「移動消費者の部屋」では、「食事バランスガイド」「日本型食生活」「食料自給率」などのパネルの展示やパンフレット配布をしながら、食育アンケートを行い、多くの消費者の方々に、食について関心をもって頂くような取組を行っています。

中でも街市では、宮崎調理製菓専門学校による米粉パンや地元産野菜のスイーツの販売、宮崎農商工連携サポートセンターの管理栄養士による「食事バランス診断」などと連携し、食料自給率の推進や日本型食生活の実践への普及啓発を行いました。

今後も消費者の方々が安心して食生活を遅れるよう、食に関する様々な情報を発信します。

九州農政局 宮崎地域センター 消費・安全グループ

〒880-0801 宮崎市老松2-3-1-7 Tel 0985-22-3181 Fax 0985-22-3384

# ☆ 消費者の部屋ホームページをご覧ください！

\* 消費者の部屋のホームページ( <http://www.maff.go.jp/j/heyaj/> )から、さまざまな情報がご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

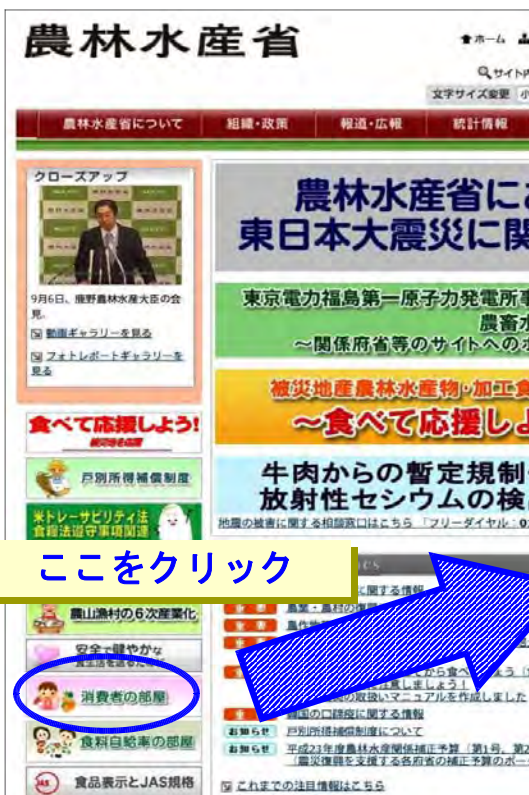
## ◇消費者相談

過去の主な相談事例を掲載しています。

## ◇特別展示のご案内

特別展示のスケジュールや概要について紹介しています。また、パネルの内容や展示物の写真など、展示の一部を掲載し、東京霞が関まで足を運べなかった方々にも展示情報をお届けしています。

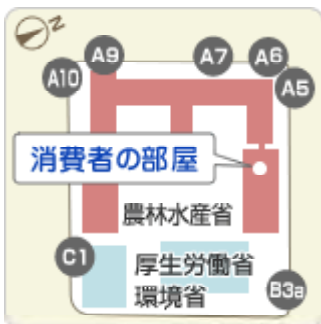
### 農林水産省ホームページ・トップ



※9月にリニューアルしました。



農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証無しで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅下車。A5、B3a出口すぐ。

平成23年9月発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局  
消費者情報官「消費者の部屋」

担当；船田、新宅、渡辺、松川

TEL 03-3591-6529 (直通)

FAX 03-5512-7651